

平木ひろみ

決算特別委員会で質疑

平成24年度決算審議にあたっては、都市計画総局に対する質疑を担当しました。本会議や委員会審査の様子は、インターネット生中継されています。録画された過去の映像もホームページ上からご覧いただけます。



都市計画総局

1. 三宮駅周辺再整備について

Q 本会議でも質疑したが、JR・阪急の三宮駅改修計画は三宮周辺の再整備のランドデザインを作って「神戸の顔」をつくるまたとないチャンスであるので、市として明確なビジョンを持って積極的に関与すべきでは？

A 課題は多くあるが、再整備の視点として①ターミナルとしての交通結節機能の強化、②駅に集まった人々を街なかへ送り出すポンプ機能の強化、③災害時に備えた防災機能の強化の3点を持つべきだと考える。周辺の民間事業者とともに、神戸の玄関口にふさわしい魅力的で風格のある都市空間を整備していきたい。

Q 都市計画総局が中心的役割を果たすべきでは？

A 市役所内はもちろん民間事業者、地元まちづくり団体の方々の意見も踏まえて公民連携して取り組む。

Q 三宮駅景観形成連絡協議会で、屋外広告物ガイドラインを定めている事例も積極的にアピールすべきでは？

A さらに広報・周知に努めていきたい。

Q サンプラザ、センタープラザは、築35年から45年経過しており、躯体の耐久性も考慮すべきでは？

A 三宮の顔として3館全体で建て替えなども検討する。

夜の三宮駅北側（サンキタ）のガールズバーなどの呼び込みがひどくなっています。神戸の顔である三宮の「まちの品格」を貶める恥ずかしい状況になっていると本会議でも取り上げました。県警、県、中央区と地域の皆様で協力してカラス族と言われる呼び込みを徹底的に排除した経験を活かし、私達が皆で「まちの品格」を守っていけるよう協力し合っていきたいものです。魅力ある神戸をつくりましょう！

神戸市会議員（中央区）

平木ひろみ

2. 防災マンションについて

Q 地域とマンション住民の連携の大切さが見直されている。「建物性能」と「防災活動」の基準を満たすマンションを認定する自治体もあるが、神戸市ではどうか？

A 神戸市では「防災福祉コミュニティ」を市内191地区で結成し住民主体の防災活動に取り組んでいる。ハード面では「建築物の地震に対する安全性に係る認定制度」が11月下旬に施行されるので、これに準じる。

3. 夜間景観のまちづくりについて

Q 全市的な取り組みの要となって統括すべきでは？

A 実施計画の実行のため、専門家、地域団体、事業者、庁内関係部局で「計画推進委員会」を設置している。

4. ハーバーランドへのアクセスについて

Q 公共交通機関ターミナルからのわかりやすい案内を。

A 今年度新たな案内サイン計画案をまとめる。

都市再生緊急整備地域



神戸市は平成14年10月に都市再生緊急整備地域として三宮駅南地域とポートアイランド西地域を指定しています。ポートアイランド西地域には、この制度を利用して大学が設置され、まちの様相が一変しました。

今回は、JR三ノ宮駅および阪急三宮駅の改修を視野に入れた三宮駅北側地区への区域拡大と、「港都神戸」ランドデザインの実現を目指してのウォーターフロント部への指定地域拡大とが決定されました。

地域内において、民間事業者による自由度の高い計画を実現するため、法の特例措置を適用することで、民間に存在する資金やノウハウなどを活用し、民間の創意工夫を活かし、都市の合理的な高度利用を行うことを目指しています。具体的には、用途・容積率等の規制適用除外や、民間事業者から都市再生事業に係る都市計画提出ができること、市街地再開発事業等に係る認可等に要する期間を短縮、税制上・金融上の支援も実施できることとなります。

平木ひろみ事務所

〒650-0045

神戸市中央区港島1-1-9-407

TEL (078)303-1319

FAX (078)322-6161

MAIL hiromi-hiraki@kobe-minshu.jp

URL <http://www.hirakihiromi.com>

2013年 秋号

市会報告